

2026. 3. 1

歴史民俗資料館だより No.163

長崎市歴史民俗資料館

〒852-8117 長崎市平野町7番8号

TEL (095) 847-9245 (FAX 兼用)

https://www.city.nagasaki.lg.jp/page/2481.html

資料館 HP



雑誌『少年倶楽部』

の付録でした



満州事変記念絵葉書

〔昭和6年以降〕 田川 賢一氏寄贈



米^{かんぱつ}国^{せんせん}及^{たいしょう}英国ニ対シテ^{せんせん} 渙^{かんぱつ}發^{せんせん}サレタル^{たいしょう}宣戦ノ大詔

昭和16年12月8日付 山口 伸和氏寄贈

新収蔵品と端午の節句展

会 期 令和8年3月26日(木)～

令和8年5月31日(日)

展示品 宣戦ノ大詔、戦時中の絵葉書、深堀鍋島家
家臣の甲冑ほか、端午の節句人形など

令和7年度も市民の皆様から貴重な資料をご寄贈いただきました。今年度の寄贈資料をはじめ、過年度の寄贈資料のなかから、まだご紹介していない資料も展示します。これらは戦時中にまつわる資料や深堀鍋島家家臣に伝わる甲冑等の資料など、長崎市の生活や歴史・文化を物語る品々です。

また、当館への所管替えにより新たに所蔵資料に加わった、小山秀関係資料もご紹介します。さらに今期は、男の子の健やかな成長を願う、端午の節句に関する資料を併せて展示します。

このたび資料のご寄贈をいただきました深堀賢久様をはじめ、田川賢一様、山口伸和様、関係各位に深く感謝申し上げます。

〔深堀地域〕

深堀は長崎半島北岸のほぼ中央、長崎湾口の南側に位置します。鎌倉時代に深堀氏の所領となりました。近世初頭、18代深堀純賢の時に、佐賀鍋島氏に従い、佐賀藩の家老格となります。鍋島姓を得て、深堀鍋島家と名乗り、以後、幕末まで存続しました。

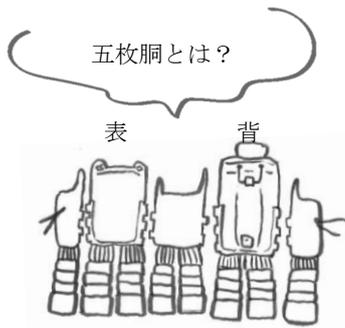
寄贈資料は、江戸時代、深堀鍋島家に仕えた家臣の一つ深堀家(権兵衛・理右衛門)に伝わる甲冑や文書類です。

鎧櫃は甲冑を収納するための箱です



深堀家資料(甲冑) 鎧櫃

江戸時代 深堀 賢久氏寄贈



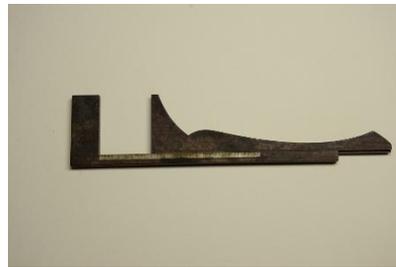
五枚胴とは？

胴のパーツが複数枚に分かれている場合、○枚胴と呼びます。本資料は、図のように五枚に分かれるため、五枚胴になります。



深堀家資料(甲冑) 五枚胴
江戸時代 深堀 賢久氏寄贈

幕末から明治にかけて長崎外国人居留地を中心に建設業で活躍した天草出身の小山秀に関する資料新たに仲間となりました！



故佐々木鴻基氏旧蔵 小山秀関係資料 (左)ノギス (右)雲形定規
幕末～明治時代 佐々木潤子氏寄贈

端午の節句

5月5日は男の子のいる家庭では武者人形を飾り、健やかな成長を祈ります。特に、初めて節句を迎える男児がいる場合は、鯉のぼりや金太郎などを染め抜いた布のぼりを揚げます。鯉のぼりは、長崎式と呼ばれる独特の揚げ方をします。これは唐船の旗の揚げ方になったものと言われています。

他にも長崎では昔から端午の節句に「唐あくちまき」(長崎ちまき)を食べます。中国から伝わる男の子の邪気を祓う縁起の良い料理とされ、サラシにいれたもち米を唐あくで煮て作ります。べっ甲色で、もっちりとした食感と独特の風味が特徴です。



端午の節句飾り
(武者人形)
大正10年(1921)



古賀人形 金太郎
昭和40年代



鯉のぼり(出世鯉 黒)
昭和後期